

平成27年2月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

**インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています**

Yahoo! や Google などの検索画面から

「袋井市役所／市議会トップページ」



「本会議のインターネット中継」をクリック



(ライブ中継) または  (録画放送) をクリック

**傍聴者の皆様へ**

**携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。**

# 一般質問通告議員

3月3日(火) 午前

質問順序	質問形式		ページ
1番	一括	田中克周議員	・・・ 1
2番	一括	寺井紗知子議員	・・・ 3
3番	一括	岡本幹男議員	・・・ 4

3月3日(火) 午後

4番	一問一答	伊藤謙一議員	・・・ 6
5番	一問一答	大庭通嘉議員	・・・ 8
6番	一括	高木清隆議員	・・・ 9

3月4日(水) 午前

7番	一括	戸塚哲夫議員	・・・ 10
8番	一括	村松尚議員	・・・ 11
9番	一問一答	高橋美博議員	・・・ 12

3月4日(水) 午後

10番	一括	沼上賢次議員	・・・ 13
11番	一括	鈴木弘睦議員	・・・ 14
12番	一問一答	寺田守議員	・・・ 15

質問順序	1	議席番号	8	質問者	田中 克周
------	---	------	---	-----	-------

質問事項・要旨（具体的な質問事項） **《一括》**

## 1 地震対策の取り組みについて

東海地震、南海トラフ巨大地震にどう取り組むべきか。様々な角度から大切と思われるいくつかの事項について伺う。

- (1) 阪神・淡路大震災の教訓として、もし住宅の耐震性が高かったら、圧死や焼死の問題、避難所や仮設住宅での問題、家屋解体やゴミの問題、復興住宅や生活再建の問題、膨大な復旧・復興経費の発生などは、問題としては小さくて済んだと言われている。被害を抑止する観点から、より一層既存木造住宅の耐震化対策を強化すべきと考えるがどうか。
- (2) 阪神・淡路大震災では、電柱の倒壊が二次災害を呼び被害の増大につながり、また緊急車両の通行の妨げにもなったと言われている。一方、電線の地中化地域では、地下の電線に支障はなく震災に強いことが判明した。電線の地中化に対する当局の見解を伺う。
- (3) 地震時管制運転装置が設置されているエレベーターは地震と同時に揺れを感じ、最寄階に停止、ドアが開くが、設置されていないものは閉じ込められる。市が管理するエレベーターは、地震発生時にはどのような対応になっているのかお伺いする。
- (4) 災害時における緊急車両は、各自治会に2台程度は必要と考えるが、手続き問題等を含め当局の見解を伺う。
- (5) 上下水道の被害状況の把握により、仮設トイレ等の配備をすることになるが、トイレ対策のリーダーシップはどこがとるようになるのかお伺いする。
- (6) 被災により断水した場合、原則トイレの使用は禁止となるが、公共トイレの使用禁止をどこが（誰が）行うようになるのかお伺いする。
- (7) 市が調達する仮設トイレは建設現場用のものである。災害時要配慮者へ配慮したトイレの用意も必要と考えるがどうか。また、トイレは調達（ハード）と維持管理（ソフト）の両面からの対策も望まれるがどう考えるか。
- (8) 簡易トイレの使用後の汚物は、可燃ゴミとして焼却処分する方法が一般的ですが、袋井市の取り扱いはどのようなになっているのかお伺いする。

## 2 公会計について

昨年4月、総務省の「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」が報告書を発表しました。平成29年度末までに新基準による財務書類を作成することとなりました。こうした状況から市の対応について伺う。

- (1) 現行の公会計制度は、「基準モデル」と「総務省改訂モデル」の2種類ですが、この度新たに統一された新基準を定め、各自治体間の比較が可能になりました。新基準は、当市が採用している基準モデルに近い内容とのことですが、具体的にどのような会計基準なのか。また、今後どのように対応するのかお伺いする。
- (2) 固定資産台帳の整備が示されていますが、袋井市は基準モデル導入時にすでに固定資産台帳は整備したはずですが、しかし昨年教育施設につき多額の評価損が発生しました。今回の国の求める固定資産台帳に合致した整備がされているのでしょうかお伺いする。

質問順序	1	議席番号	8	質問者	田中 克周
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
	(3) 統一基準による資産の評価により、将来の施設更新必要額の推計や施設別コスト分析、事業別セグメント分析などが可能となる。どのように活かしていく方針か伺う。				

質問順序	2	議席番号	20	質問者	寺井 紗知子
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>施政方針より</b> 「新たなステージを先取る」との予算編成方針が掲げられた3つの先取りに不足はないか。 (1) 子どもの安全安心、相談体制などは確保されているか。 (2) 児童養護施設を退所した子どもたちの生活の活力となる就業支援は。 (3) 「子どもの権利に関する条例制定」は。				
<b>2</b>	<b>駅南地区のまちづくりについて</b> (1) 南口開設に伴っての道路整備は。 (2) 新幹線北側の治水対策について ア 高尾放水路の進捗状況 イ 田端東調整池の整備状況 (3) 新幹線南側における貯水量確保について ア 都市型ポンプの規模と事業化の見通し イ 親水公園構想の具現化は。 (4) 土地利用について ア 土地利用事業事前協議申出書の状況は。 イ 事前協議における措置事項とは。 ウ 開発の事業主体は。				

質問順序	3	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
1	<p><b>子どもの未来を拓く教育の推進について</b></p> <p>袋井市においては、平成27年度より子どもの未来を拓く教育研究事業が開始される。この事業は、児童生徒の確かな学力の定着、いじめ問題、不登校問題、特別支援教育などに対応するためのものであるが、これに関連し、次の三点について伺う。</p> <p>(1) 小中一貫教育の導入に向けた調査研究が開始されるが、取り組みの契機がいわゆる「中一ギャップ」にあるとしても、学校、各市町村において取り組みの目的を明確化することが求められている。袋井市の施策としての最大のねらいは何か。</p> <p>(2) 浅羽中学校区では、平成26年度に文部科学省・国立教育政策研究所の委託により「魅力ある学校づくり」に関するアンケート調査が実施されている。これは中学校と同一校区内4小学校との共同のアンケート調査であるが、目標のひとつに「自己有用感」を高めることが上げられている。中間段階で判明したのはどのような内容であったのか。また、その結果を今後、小中一貫教育の導入に向けた調査研究や教育現場においてどのように活かしていくのか。</p> <p>(3) コミュニティ・スクールの全校実施に向けた環境整備を行うとあるが、地域とともにある学校の姿を求めるものとして方向性はどのようなものか。</p>				
2	<p><b>公民館の施設管理について</b></p> <p>袋井市が進める市民と行政のパートナーシップ推進事業において、公民館の果たす役割は今後ますます大きなものとなる。そこで、次の三点について伺う。</p> <p>(1) 現在制定されている袋井市立公民館条例は、第15条において公民館の利用によって利用者が損害を受けた場合、教育委員会は賠償の責を負わないと規定している。これは国家賠償法第1条、第2条や憲法第17条などの規定に違反している疑いがあり早急に改定すべきではないか。</p> <p>(2) 公民館に公園が付設されているのは現在、浅羽東公民館、浅羽西公民館の二館がある。これらの公園は、公民館に付設されているとの理由で生涯学習課の所管となっているが、建設課または市民協働課の所管とした方が効率的に適していないか。</p> <p>(3) 現在、整備が行われている三川公民館に隣接する（仮称）三川公園については、公民館との関係において所管はどのような形態となるのか。また、管理に係る根拠条例は袋井市コミュニティ施設条例とされるが、その第13条には袋井市立公民館条例と同様の利用者の受けた損害に対する市の免責規定があり、やはり早急に改定すべきではないか。</p>				
3	<p><b>近隣大学との交流促進について</b></p> <p>袋井市では、静岡理工科大学や静岡県立大学との交流を行政の様々な場面で活用している。近隣の磐田市や浜松市にはさらに異なる研究分野を持った大学が存在しており、これらの大学の持つ機能を市政に活用すべきではないかと考えるがこの点について伺う。</p>				

質問順序	3	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
	<p>(1) 磐田市の静岡産業大学経営学部は静岡理工科大学とは全く異なる研究分野を持っており、周辺自治体に対し、地域のシンクタンクとしての役割を担うことを目指している。具体的には、経営学科の地域マネジメントを地域活性化に活かしたり、スポーツ経営学科のスポーツ指導を市民の健康促進に活かすことなど提携可能な分野が多く存在しており、袋井市政に活用することを検討できないか。</p> <p>(2) 磐田市の県立農林大学校では各種農作物の栽培研究をしており、現に6月の全国メロンサミット in ふくろい開催に向け、栽培面での協力をしている。また、学生の約7割は非農家の出身であり農業法人への就職が主な進路先となる。さらに、失職後や定年後の職業訓練校の役割や、就農者向けの静岡アグリ実践大学の運営もしている。これらの機能を袋井市の農を活かしたまちづくりに活用できないか。</p> <p>(3) 袋井市では、浜松市の静岡文化芸術大学の寒竹教室に依頼し、現在施工を開始した遠州灘海岸の防潮堤整備工事のデザインについて浅羽南地区住民にアンケート調査を実施した。今後、同大学のデザイン分野などの機能をさらに活かしていく考えはないか。</p>				

質問順序	4	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一問一答>>					
<b>1</b>	<p><b>全国メロンサミット in ふくろいについて</b></p> <p>本市の主要農産物としてクラウンメロンが挙げられ、メロンの全国トップブランドとしての地位は地元の誇りだと感じている。本年、市制10周年を記念して全国初の試みとしてメロンサミット in ふくろいの開催が企画されているが、その内容に関して以下を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本事業の目的を改めて伺いたい。また、具体的な目標や事業規模があれば併せて伺いたい。</li> <li>(2) 全国初の試みという事もあり大きな反響が期待されるが、参加産地の関係者、マスコミ、またバイヤー等への周知の方法及び本事業への反応について伺う。</li> <li>(3) 事業名であるサミットとは頂上という意味であり、一般的にはトップ会談として認識されている。事業として内容の高さが問われると考えるが、現時点での課題について伺う。</li> <li>(4) 個人的には、本市のメロン生産者が多くの国内外のバイヤーや個人消費者と交流を持ち販路拡大につなげていただきたいと思う。生産者や販売関係者との連携等は充分か伺う。</li> <li>(5) 本サミットは学術的及びイベントとしての観光業を踏まえた農業の6次産業化事業といえると思う。本サミットを通して今後の袋井クラウンメロンの未来をどう考えるか伺う。</li> </ol>				
<b>2</b>	<p><b>男女共同参画について</b></p> <p>国では「女性の活躍推進」を掲げ、アベノミクスによる成長戦略のひとつとして挙げている。待機児童解消や育児環境の支援、内閣内で女性の積極的な役職への登用や同様に民間企業にも女性役員登用を呼びかけ、一部にはインセンティブを講じている。一方本市に目を向けると、待機児童解消に向けての取り組みや子育て環境の充実等の取り組みは施策として見えるものの、女性の活躍推進という言葉自体はあまり見受けられない。人材発掘、共働き世代の所得の安定、若い女性の都市部への人口流出等、地方にも多くの課題があり、なおかつ各問題の解決の一つの希望として女性の活躍推進はキーワードになると考える。以上の理由から以下を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国の成長戦略として女性の活躍推進が挙げられ、労働人口の減少対策として、また男女の性の違いから生まれるクリエイティブな発想に対して期待がされていると感じるが、女性の活躍推進に関する本市の考え方及び今後の意向について伺う。</li> <li>(2) 女性の平等的な社会進出を考えた時に、子育て及び育児の環境整備が大きな課題である事は事実である。それについて国では多くの施策が見られ、それは本市においても同様であるが、今後の課題として考えられる整備内容はどのような点だと考えているかを伺う。</li> <li>(3) 政府は女性の活躍の見える化として、「みえる化サイト」を立ち上げている。そこで本市役所における以下の項目の詳細を伺う。          職員の男女比、管理職男女比、女性管理職登用の目標有無、産休及び育休の取得者数、育休後の復職率</li> </ol>				



質問順序	4	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一問一答》</b>					
	<p>(4) 若年層の人口が増加する本市において、私のような共働き世代は必然的に多いと考える。家事について男性が「手伝う」という表現も現在では「シェアする」という表現が適切だと言われているように、働く女性の周辺の環境を変えるための啓発も必要だと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 女性の社会進出を考える中で、多くの日本の大手企業では制度の充実化を目指しているが、一方で働くやりがい作りにも着目している。本市としても各施策を通してやりがい作りを行ってはいかがだろうか。</p>				

質問順序	5	議席番号	19	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一問一答》</b>					
<b>1</b>	<b>人事政策について</b> 本市では国の指導のもと、定員適正化計画を策定し、平成17年度、571人いた職員を平成27年度504人に減員するなどの計画を立て推進しているが、人事政策の面から見て多くの課題が残されている。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 定員適正化計画の達成見通しと今後について</li> <li>(2) 計画未達成における国のペナルティについて</li> <li>(3) 実質的人件費低減の成果と計画の総括について</li> <li>(4) 正規、嘱託、臨時職員の位置づけと考え方について</li> <li>(5) 退職者の増加に関わる人事政策について</li> <li>(6) 職員の年齢別分布に対応した人事政策について</li> <li>(7) 定員管理方針の基本的考え方について</li> <li>(8) 幼稚園教員・保育所保育士の確保と人事政策について</li> <li>(9) 残業手当の実態と今後の対策について</li> <li>(10) 包括民間委託の実質的効果の測定について</li> </ol>				
<b>2</b>	<b>環境政策について</b> 環境基本計画のもとに、各種の施策が進められているが、太陽光発電など固定価格買い取り制度など見直しがされ、本市の達成が厳しくなっている。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 太陽光発電について               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 住宅用太陽光発電の今後の設置目標等について</li> <li>イ 民間会社への太陽光発電の働きかけについて</li> <li>ウ 公共における今後の展開について</li> <li>エ 太陽光発電、市民ファンドの導入検討について</li> </ol> </li> <li>(2) 新エネルギーの導入状況について</li> <li>(3) 風力発電設置状況と今後の対応について</li> <li>(4) バイオマスの進捗状況について</li> </ol>				
<b>3</b>	<b>どまん中事業について</b> 袋井宿開設四〇〇年記念事業が来年に迫ってきているが、事業の進捗状況はどうか。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 具体的なソフト・ハード事業について</li> <li>(2) メモリアル施設設置の市の基本方針について</li> </ol>				

質問順序	6	議席番号	1 1	質問者	高木 清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>公共下水道全体計画の見直しについて</b> 人口減少や高齢化社会などによる地域社会構造の変化により、下水処理施設の整備を取り巻く諸情勢が大きく変化している中、全体計画の見直しに向けた取り組みについて問う。 (1) 経費回収率について (2) 公共下水道から合併処理浄化槽への流れについて ア 合併処理浄化槽における個人設置型から市町村設置型への取り組みについて イ 個人設置型の市一括管理について (3) 全体計画見直しに向けた国の指導指針について (4) 全体計画の見直しの構成とフローについて				
<b>2</b>	<b>超小型モビリティの導入促進</b> 超小型モビリティは、子育て世代や高齢者の移動支援における新たな交通手段の提供、観光・地域振興、省エネ・低炭素化への寄与、新規市場・需要の創出などが期待されていることから、超小型モビリティを活用したまちづくりに向けた取り組みについて問う。 (1) 超小型モビリティについて、調査・研究をしているか。 (2) (株)タジマモーターコーポレーションにおける技術開発支援に向けた取り組みは。 (3) 市として、超小型モビリティを導入した新たなまちづくりに取り組む考えはあるのか。				

質問順序	7	議席番号	1	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>道の駅の設置について</b> 国交省がまとめた「国土のグランドデザイン2050」では、今後人口が減少していく中、地域に「小さな拠点」が必要とされている。道の駅はその小さな拠点としての役割を担えらると思われ。 (1) 地方創成の閣議決定を受け、市が策定する「地方版総合戦略」に道の駅を位置づけ設置に取り組むことを提案するがお考えは。				
<b>2</b>	<b>高齢者介護について</b> 特別養護老人ホームが取り組む自立支援介護（日中おむつゼロへの取り組み）は要介護度が低くなると、利用できるサービスが狭まるのに伴い、事業者が受け取る介護報酬も減る。 (1) 事業者施設利用者の状態改善に前向きに取り組んでもらうため、利用者の要介護度改善に対し「奨励金」を支給したらどうか。				
<b>3</b>	<b>認知症対策について</b> 新オレンジプランには、「若年性認知症施策の強化」がある。働き盛りの人が退職に追い込まれるなど社会的影響が大きい。 (1) 袋井市の現状、現在利用可能な制度やサービス、県が窓口を設置するまで市の相談対応は。  徘徊する高齢者の早期発見、保護については公的機関、自治会、各種事業者が協力して、ネットワーク（はいかいSOSネットワーク事業）を構築している。 (2) キーホルダーを活用したシステムで成果を上げているところがあるが検討したらどうか。				

質問順序	8	議席番号	13	質問者	村松 尚
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>地方創生について</b> <p>地方版総合戦略が各自治体の計画として検討することが必要となったと思われるが本市の考えはどうか。</p> <p>(1) 静岡県は人口の社会減が2年連続でワースト2であるが本市の社会増減はどうか。</p> <p>(2) 将来に向けて総合戦略を進めていく考えはどうか。</p> <p>(3) 総合戦略と市の総合計画とのリンク性はどうか。</p> <p>(4) 新年度予算の中で総合戦略の目玉である産業振興や出産、子育て支援についてはどのような位置づけになっているか。</p> <p>(5) 地方創生の目的に雇用の創出があるが今後本市への企業進出が求められても要望に応えられないと思うがどうか。</p> <p>(6) 若者に定住してもらうことが重要であるが子ども、子育て支援の一段の充実を求められるが具体策はどうか。</p> <p>(7) 地方の消費を喚起する目的でプレミアム商品券を発行する自治体、商工会議所もあるが本市の考え方はどうか。</p>				
<b>2</b>	<b>空き家対策について</b> <p>全国的に空き家が増加している本市の取り組みを伺う。</p> <p>(1) 古い空き家への近隣または自治会からの苦情はどうか。</p> <p>(2) 空き家の解体後の固定資産税はどうか。</p> <p>(3) 空き家の処分を自治体が行うことが可能かどうか。</p> <p>(4) 空き家物件の再活用ができれば積極的に進める考えはあるか。</p> <p>(5) 住宅密集地の空き家を解体し自治会の防災拠点として利用する自治体があるが本市の考えはどうか。</p>				
<b>3</b>	<b>小中学校の教室不足について</b> <p>袋井北小学校、山名小学校、周南中学校区の児童生徒が増加している。対策が必要では。</p> <p>(1) 袋井北小学校、山名小学校、周南中学校区での今後の子どもの数はどう想定しているのか。</p> <p>(2) 3校について今後の教室不足の心配があるが対策はどうか。</p>				

質問順序	9	議席番号	12	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）      <<一問一答>>					
<b>1</b>	<b>情報発信の取り組みについて</b> 袋井市の情報発信力が弱いとの指摘もある。また市の認知度も県内でも低位にあり、積極的な取り組みが必要と考える。 (1) 広報ふくろいの紙面改善の取り組みはどうか。 (2) 公式ホームページの魅力アップはどうか。 (3) シティ・プロモーションを意識しての情報発信はどうか。 (4) 市民団体との情報発信での連携はどうか。 (5) 広報戦略策定はどうか。				
<b>2</b>	<b>地方創生戦略策定について</b> 今年度「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めるがその内容が全く見えない。どのようなものを目指すのか伺う。 (1) インパクトがあり、実効性がある戦略となるか。 (2) 地域課題、地域資源に即した戦略となるか。				
<b>3</b>	<b>資源ごみの回収について</b> 本市の資源ごみ集団回収は市民協働の取り組み、優れた取り組みと考える。更なる前進を図るためゴミ処理、資源回収の取り組み成果の「見える化」を求める。 (1) 本市の分別は現在何種類で、他市との比較はどうか。 (2) ゴミ排出量、リサイクル率、所要経費を「見える化」すべきではないか。 (3) 活動の成果を「見える化」し、目標の共有化ができないか。 (4) 優れた施策としてPRできないか。 (5) 資源ごみ拠点回収の今年度の実績はどうか。また、市北部での実施はできないか。				
<b>4</b>	<b>障害者差別解消法について</b> 障害者差別解消法が来年4月から施行される。本市の対応について伺う。 (1) この法律をどう受け止め、どのように対応するのか。				

質問順序	10	議席番号	5	質問者	沼上 賢次
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b>					
<b>1</b>	<b>地域包括ケアシステム構築</b> 急速に進む高齢化社会へ対応する施策として、認知症の患者、家族を支援する施策や生活支援サービスの基盤整備など、ケアシステムの構築が必要である。 (1) 要介護者の数の推移、並びに入所サービスや在宅サービス等の利用状況について。 (2) 市が取り組むべき介護事業の方向性について。 (3) 地域包括支援センターの役割は重要になる。その機能をどう強化し充実するのか。 (4) ケアの流れを変えるため、認知症初期集中支援チームの設置や地域支援推進員の配置、また認知症カフェなどの設置など、具体的な計画について。				
<b>2</b>	<b>AEDの配置</b> 既存のAED設置場所は休館中や閉館中は立ち入れないことが多く、休日、夜間の対応が課題である。緊急事態に対応できるよう改善を。 (1) 現状でのAEDの貸し出し可能な施設の状況はどうか。 (2) 地域内やスポーツイベントなどで、市民向けに貸し出しを行ってはどうか。				

質問順序	1 1	議席番号	1 0	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
1	<b>平和政策と平和教育について</b> (1) 戦後70年の節目の本年、袋井市として平和政策を今後どの様に推進し何を目標していくのか。 (2) 袋井市として子ども達に平和教育をどの様なかたちで推進していくのか。				
2	<b>新袋井消防庁舎内防災センター整備事業と防火防災施策の方向性について</b> (1) 袋井消防庁舎内に新たに整備される防災センターの担いは。 (2) 防災センター整備にあたってどの様な課題が解決できるのか。 (3) 防災センター整備にあたって関係市町との協議状況はどの様になっているのか。 (4) 防火・防災活動の拠点としての機能が求められる中で関係機関との連携はどの様にとっていくのか。 (5) 平時の防災センターの活用はどの様に行われるのか。				
3	<b>若い世代の定住化に向けての現状と今後の方向性</b> (1) 袋井市における現状について ア 若い世代の人口推計はどの様に変動しどの様な特徴があるか。 イ 空き家・空き店舗等の実態は、どの様な状況か。 (2) 袋井市における今後の方向性 ア 空き家などを紹介する総合窓口等の設置への考えはあるか。 イ 若い世代への定住化促進を促す支援策などの考えはあるか。				



質問順序	1 2	議席番号	7	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）      <<一問一答>>					
<b>1</b>	<b>沖之川流域の治水対策の検証</b> 昨年10月の台風18号による集中豪雨では、沖之川流域でも多くの浸水被害が発生した。この間実施されてきた治水対策の検証と今後の対策の進め方について伺う。 (1) 大谷川の逆流防止水門が一昨年完成したが、家屋の浸水被害を防げなかった。原因の究明と今後の対策について伺う。 (2) 鷺巣川の治水対策として、河道の拡幅と遊水池の整備が始まっている。今回の豪雨では水没した箇所も見られたが、計画の妥当性について伺う。 (3) 貯水対策として畦畔をかさ上げする水田貯留施設の整備が進められてきた。この事業の効果の検証について伺う。 (4) 太郎兵衛新道国本線の冠水対策が始まっているが、これと交差する新屋鷺巣線は今回も冠水し、長時間通行止めとなった。同道路の冠水対策について伺う。				
<b>2</b>	<b>沖之川改修計画の現状と課題</b> 沖之川の流下能力を上げるため改修工事が進められているが、進展状況はどうか。また、流域での土地利用、関連する景観整備について伺う。 (1) 沖之川の新旭橋上流では現在、河道の拡幅工事が行われている。この工事による河川の流下能力の評価について伺う。 (2) 耕作放棄地が広がっているが、水田が畑作に変更される場合も見受けられる。貯水能力の低下が心配されるが、その影響と指導について伺う。 (3) 久野城址南遊水池は、城址の景観に配慮した整備が提言されている。いまだ具体的な地元説明がなされていないが、改めて進展状況を伺う。				
<b>3</b>	<b>小山鷺巣線、鷺巣地内の整備</b> 市道小山鷺巣線の鷺巣地内の道路は、かねてより整備が必要とされてきた幹線道路である。今後の整備方針と計画について伺う。 (1) 同道路は、周辺の土地利用計画、接道条件の変化が予想され、道路整備の緊急性が高まっている。今後の整備計画、見通しについて伺う。 (2) 危険性、重要性、地元要望等を考慮し、優先箇所を選定して着手していく整備方法も考えられる。計画の検討について伺う。				